

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

千葉で働く1400名組合員・家族の団結を!

四月二十八日から五月一日まで、動労「本部」は「オルグ」と称する動労千葉への組織破壊行動を行ってきましたが見事に失敗してしまいました。多数の力でムリヤリおさえ込もうというやり方が、考え方の多様な労働組合の中にあっという間にまちがった考え方であるかは言うまでもありません。この四日間の「オルグ」を通して、「中央本部」の理不尽さを怒る動労千葉一四〇〇名の団結が一層強まり、「オルグ」に來た全国の人たちの間に「中央本部のやり方はおかしい」という疑問の声が大きく出てきたことは当然と言わなければなりません。

家族も含めた団結で 職場と生活を守ろう!

動労千葉と「中央本部」のさまざまな問題については、マスコミ報道その他で家族の皆さんに多くの心配をかけたと思います。三月一九日以降、「中央本部」の「家庭訪問」も行われています。また、電話による脅迫や嫌がらせも一部にありました。

動労千葉に結集する私達一四〇〇名は、賃金や労働条件、生活と生命を守る闘いを、マル生闘争、船橋事故闘争、三里塚・ジェット闘争という労働組合として当然の闘いを通して実現させてきました。

動労千葉が闘ってきたが故に、私達の生活や労働条件が守られ、向上してきたと言っても決して過言ではありません。

そういう動労千葉に対し、執行部全員の統制処分を行い、労働組合として機能できないようにしておきながら、一四〇〇名の労働条件や生活を守るために、「中央本部」は全く何もしていません。動労千葉は一四〇〇名組合員と家族の生活を守るために「自分のことは自分でやる」決意を固めました。

そういう私達に対して多勢をもって家庭にまで押しかけてくる以上、家族も含めて闘わなければ、自分自身の生活を守り、向上させてゆくことにはできないのです。

「中央本部」の人達は口ではうまい事を言いますが、千葉の組合員の生活を本当に真剣に考えてなどいません。もし、真実一四〇〇名組合員・家族のことを考えているならば、このようなひどい組織破壊活動などできるはずがありません。

「本部オルグ」の目的は 団結破壊だ!

労働者はひとりひとりでは弱い存在ですから、団結して労働組合を作って職場と生活を守らなければなりません。このことは現在の法律でも明確に保障されていることです。

動労の中でも、千葉地本は最も団結が強い(まとまりがよい)と言われていました。このことは動労千葉に結集する一四〇〇名がよく話し合い、お互いの立場を尊重し、公平に、理にかなった労働運動をやってきたことの何よりの証だと言えます。「中央本部」の家庭にまで押しかけてくる「オルグ」とは、役員や組合員の悪口をツゲ口的に言いふらし、お互いの不信感を生み出して、全国でも最もよくまとまっている動労千葉の団結をブチ壊そうとする組織破壊攻撃なのです。

見えすいた「中央本部」のウソ!

まず第一に千葉鉄道管理局の動力車職場(機関区や電車区、運転区)で働く一四〇〇名が、お互いの信頼関係を強めて団結することなしに、当局に対して労働条件を守ることなどはできません。「オルグ」と称して来る人達は職場や家庭で、私達の信頼関係を破壊し、団結を弱めるためにさまざまな嘘をついています。「中央本部」から家庭に郵送される新聞やピラにも多くの嘘が書かれています。

動労千葉は、財政的にも万全だし、一四〇〇名でも立派にやってゆける方法について、お互いに話し合い確認しています。同じ地域同じ管理局内に働く者同士として、心をひらいていつでも話し合える状況にあります。

いま、いちばん大事なことは他所から來て勝手に嘘を言う人たちに惑わされず、千葉で働く一四〇〇名が信頼し合い、団結することなのです。

「家庭訪問」や電話に対しては毅然と対応し、見えすいた嘘にごまかされず一四〇〇名組合員・家族が一致団結して職場と生活を守り抜こうではありませんか。

わたしたちも

暴力的破壊「オルグ」

許しません!!



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!